No.545 2月15日号

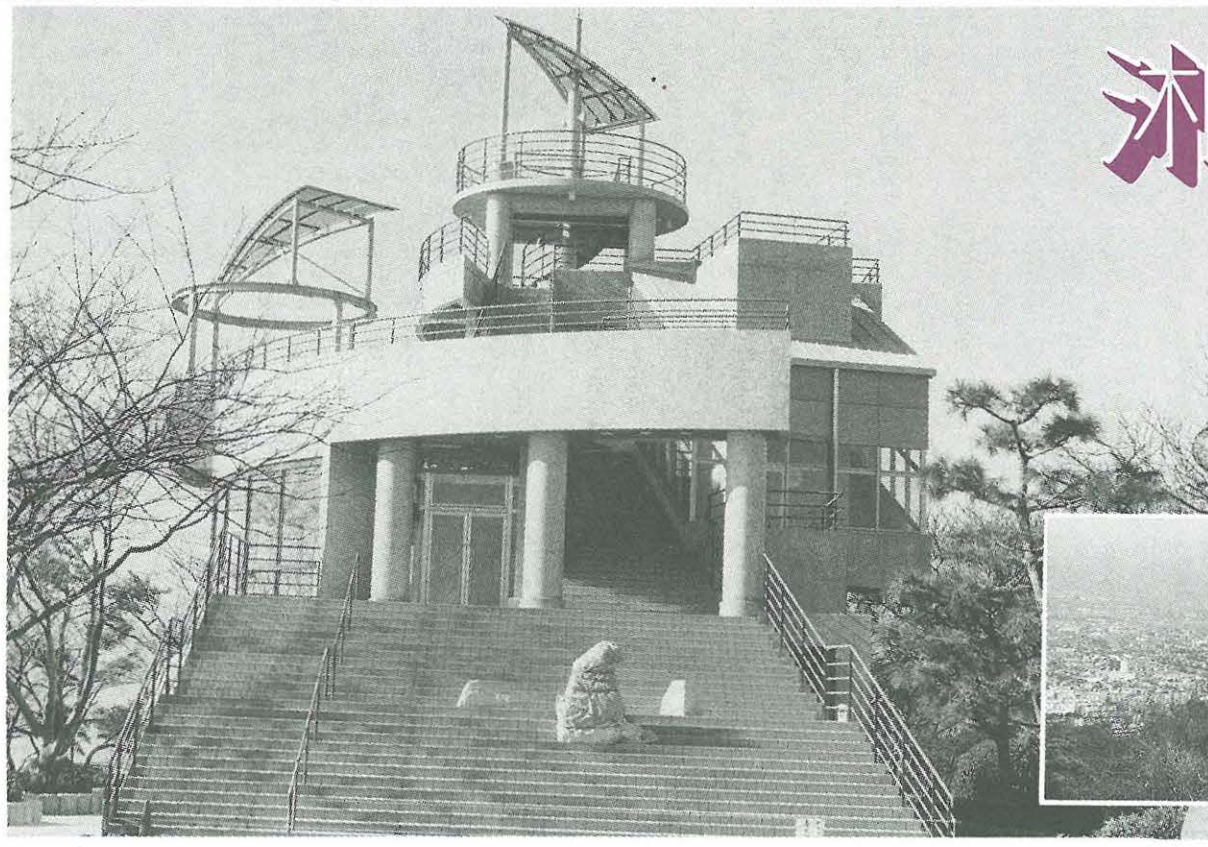
広報ひらつか

人口　253,951人
世帯　88,957世帯
（平成７年１月１日現在）

平成７年２月15日／毎月１日・15日発行／102,000部／神奈川県平塚市役所発行
編集・企画部広報広聴課／〒254　平塚市浅間町９番１号　電話23―1111・35―1111

湘南平

3月4日オープン



光と風のゾーンのメイン施設高麗山公園レストハウス

高さ15mの展望台から望む市街地

展望レストラン

☆……神奈川景勝五十選に選ばれている湘南平に、建設を進めていたレストハ…☆
☆…ウスが、このほど完成し、二月二十二日（水）竣工式を行います。完成し…☆
☆…た高麗山公園レストハウスは、展望台付きで眺望がすばらしく、桜の開花…☆
☆…する前の三月四日（土）にオープンします。ぜひ、お出掛けください。……☆

光と風をテーマに

湘南平は、標高百七十九メートルあり、昭和三十二年市民の公園として誕生しました。レストハウスは、昭和三十四年四月にオープンしており、それ以後、市民のみなさんに広く利用されてきました。しかし、三十二年を経過しているため、建物の老朽化が激しくなり、建て替えと周辺の整備を行うことになりました。

湘南平は、新平塚市総合計画の重点施策として「湘南平ビューランドプラン21」に位置づけられ、「光と風」「こぼけみの森」「文化の森」「子供の森」「季節の森」の五つの整備ゾーンからなっています。その最初の整備ゾーンである〝湘南平光と風のゾーン〟のメイン施設として、平成五年から二か年継続事業で整備を進めてきたのが、高麗山公園レストハウスです。

自然環境と調和を

施設は、自然環境や眺望など湘南平の特性を十分生かし、周辺環境に溶け込み違和感のないものとなっています。また、市民のみなさんに利用されやすく、愛され、再度訪れたいと思わせるような施設づくりをしています。

建物は、鉄筋コンクリート造り三階建てで、延面積は六百十二平方メートルです。外壁は磁器質タイルばりとコンクリート打ち放しからなり、食堂の外壁は食事中の展望と太陽の暖かさが満喫できるよう大きなステンレス枠のガラス張りとなっています。建築面積は三百五十五平方メートルです。

大パノラマの眺望

建物の一階部分は、自然の採光を多く取り入れ、人口照明とマッチさせたエントランスホールや売店、トイレ、管理事務所等があり、お年寄りや障害者用のエレベーターと、車いす二台が用意されています。

二階部分は、展望レストランで六十席あり、床はフローリングボード仕上げなど、落ち着いた雰囲気のレストランになっています。

屋上の展望台は、地上から高さ九・一メートルあり、レストランと同様エレベーターで昇ることができます。さらに、展望台は屋上から展望台ハウス一階、二階と三層からなっており、一階が地上十二・六メートル、二階が十五・一メートルと、一階上がるごとに変化する眺望となっています。展望台ハウスへは階段で昇りますが、ここからの眺望・景観は、市内の街並みや湘南海岸、大島を始めとする島々、箱根連山、雄大な富士山、大山丹沢山塊など、三百六十度の大パノラマを楽しむことができます。

また、この展望スペースは、「光と風」のゾーンモニュメントになっており、風の吹き流しを意識させ、潮風を身体で感じることができます。

階段でレストランへ

二階のレストランと展望台へは、広場側から幅十二メートル（上段は幅九メートル）の広い階段から昇ります。これは、ゾーンイメージの「光と風の丘」を造形したものです。また、子供たちが木やジャングルジムに、気軽な気持ちで登るような、階段のイメージです。

豊富なメニューを

三月四日からオープンする「湘南平展望レストラン」は、百十二平方メートル、いす席六十の広さです。テナントは平塚市料理飲食業組合連合会に委託して、子供から大人まで、幅広い利用者に喜んでいただけるよう、和食、洋食、中華、日本そばなどをそろえるそうです。

営業時間は、午前十時から午後九時までです。

売店は、「ショップ湘南平」と命名し、飲み物、菓子、おみやげ品、軽スポーツ用品を取り扱う予定です。営業時間は、午前九時三十分から午後九時三十分までです。

また、閉店時の利用者のために、屋外に自動販売機コーナーを設置して、ジュース等の飲用ができるようにしました。

エントランスホールは、訪れる観光客のために、本市の紹介や観光物産、催し物案内等のパンフレットの配布コーナーを設けます。

総工事費は六億六千百十五万七千円です。

・担当　みどり公園課

湘南平

湘南の海岸線と丹沢連峰から伊豆の山々まで見渡せる眺望の名所です。春には桜やツツジのお花見、アスレチックコースなど、憩いの場所として親しまれています。

・交通　平塚駅バス12番線湘南平行き終点

市民豆ルポ　おじゃまタイム　22　話題の人たち

20周年記念展を開く有雅陶（ありがとう）

敬老の日に89歳のお年寄りに湯のみ茶わんを贈り続けている陶芸クラブ「有雅陶」が創立20周年を迎え、15日から記念展を開く。取材は松原恵子さん（東八幡）

青少年会館で活動している陶芸グループ「有雅陶」は、昭和四十九年に青少年会館で開かれた陶芸教室参加者の有志によって発足したグループです。

主な活動としては、例会が毎週土曜日の夜六時から九時まで青少年会館で製作活動を、また浅間祭や市民市への参加、夏休み親子陶芸教室、成人向け陶芸教室、研究委員企画による見学会、旅行、作陶に対する研究会など活発な活動を行っています。

なかでも、毎年敬老の日には満八十九歳（翌年九十歳）になられる方に、湯のみ茶わんを社会福祉協議会を通してプレゼントしています。昨年は、百八十一個プレゼントしました。古くからの会員の方のお話では、もう十五年以上になるそうです。

会員は、陶芸教室の参加者や作品展を見て入会された方が多く、当初のメンバーは二人になってしまいました。四十代・五十代の方が多いなか、「自分の好きな作品が作れて、自由で気楽な雰囲気が良いので、東京から毎週通ってくる」という二十代の女性の言葉が、「有雅陶」の良さを表しているように思いました。会場の関係で、なかなか新しい会員を迎えられないのが、悩みだそうです。

今年は、創設二十周年なので、平塚市美術館のギャラリーで記念展を開きます。二月十五日から十九日の記念展を目前にして、それぞれが思い思いの製作に余念がありません。どんな作品が展示されるのか、大変楽しみです。

なお、青少年会館のロビーにも、「有雅陶」の作品が展示されています。

陶芸クラブ有雅陶のみなさん

生活インフォメーション

もうすぐ一年生
元気に通えるよう準備を

自分で安全が確かめられるよう交通ルールの指導を

今年四月に市内の小学校に入学する新一年生は、約二千五百人となっている。

新入学児のいる家庭では、お子さんが四月から元気に楽しく学校に通うことができるよう次のことに注意して、四月五日の入学式を迎えていただきたい。

◆健康
▽就学時健康診断で治療するよう指示された項目は、早く治療しておこう

◆遊び
▽いろいろな友達と外で元気に仲よく遊べる環境をつくっておこう
▽遊びに行くときは、行き先、時間などを告げる習慣をつけておこう

◆生活
▽あせらずに子供と一緒に行動しながら基本的なことを教えておこう
▽早寝早起き、身の回りの整理整頓の習慣をつけておこう

◆事故防止
▽知らない人に声を掛けられても、ついていかないよう教えておこう
▽子供が自分で安全を確かめて行動できるよう、通学路などについては親も一緒に歩いて見ておこう

◆食事
▽新一年生の給食は五月から始まる。食事をしながら基本的なしつけをしておこう
・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする
・テレビを見ながら食べない
・一品ずつ食べてしまわず、主食・副食を代わる代わる食べる
・こぼさないようきれいに食べる
・食べ物が口に入っているときは、しゃべらない

入学通知書の確認をして！

教育委員会では、四月に小・中学校に入学するお子さんのいる家庭へ、入学通知書を郵送してある。まだ、入学通知書が届いていなかったり、通知書の記載に誤りがあったりしたときは学務課学事係（内線五三二）にご連絡を。

▽対象となるお子さん
・小学校　昭和63年4月2日～平成元年4月1日に生まれた方
・中学校　昭和57年4月2日～58年4月1日に生まれた方

なお、外国籍で市内の小・中学校に入学を希望される方はお申し出を。また、国立や私立の学校に入学するときは、印鑑と入学する学校の承諾書を持参し、学務課に届け出を。

続柄の表記が改正
3月1日から全国一斉に

三月一日から、全国一斉に、住民票の続柄についての記載が改められる。これは、プライバシーの保護や、嫡出子（法律上の婚姻届を受理された夫婦の間に生まれた子）と、非嫡出子（嫡出でない子）についての表記を統一するために行われるもの。

現在、住民票には「世帯主との続柄」を記載する欄があり、嫡出子を「長男」「長女」などと書くのに対し非嫡出子は「子」、養子は「養子」と表記することになっている。今後は、これらすべてが「子」に統一され、住民票の続柄表記からは区別できなくなる。

※問い合わせ先　市民課市民異動係（内線二三六）

区分	改正前	改正後
嫡出子	長男、二女等	子
特別養子	長男、二女等	子
養子	養子	子
非嫡出子（世帯主である父に認知されている場合）	子	子

好評なお祭り備品
希望する団体は申し込みを

地域づくり課では、お祭りやイベントで好評なコミュニティ備品の貸し出しを行っている。

今回、四月から九月までの利用の予約を受け付けるので、希望する団体は三月三日（金）までに地域づくり課市民生活係（内線二六三）にお申し込みを。

なお、利用希望日が重なった場合は抽選となる。

▽対象　自治会、子供会などの地域コミュニティ団体
▽貸し出す備品　綿菓子機、ポップコーン機、かき氷機、おでん鍋、焼きそば台、焼き物器、発電機（以上各2台）、ワイヤレスマイク・アンプ1組、テント5張り、紅白幕9張り
▽貸し出し期間　5日以内
▽抽選日時　3月8日(水)午前9時　市役所入札室

義務教育費を一部補助する

小・中学校に通学するお子さんのいる家庭で、義務教育費の支払いにお困りのとき（市民税非課税世帯など）は、その費用の一部を市が援助する。

▽対象となる経費　学用品・通学用品費、遠足・キャンプ・修学旅行参加費、給食費など

なお、現在援助を受けている家庭であっても、四月から引き続き援助を希望される方は手続きが必要となる。詳しくは、教育委員会学務課学事係（内線五二〇）にお尋ねを。

都市計画新用途地域決まる

新用途地域については、平成六年十月十五日発行の「新用途地域市素案」特集に基づき住民説明会および任意縦覧を実施した。この間、寄せられた意見などについて都市計画審議会に諮り審議した結果、素案のとおり決まったのでお知らせする。

今後、県による公聴会などの手続きが進められ、最終的に平成八年六月までに決定されることになる。

※問い合わせ先　都市計画課計画係（内線四二八）

立候補者に事前説明会開く

平塚市選挙管理委員会では、四月に行われる統一地方選挙立候補予定者に対する事前説明会を開く。詳しくは、同委員会事務局（内線四九四）にお尋ねを。

▽県議会議員選挙（4月9日投票日）の立候補予定者
・日時　3月7日（火）午後1時30分～
・会場　市役所C会議室
▽市議会議員・市長選挙（4月23日投票日）の立候補予定者
・日時　3月13日（月）午後1時30分～
・会場　教育会館大会議室

フロンガスの回収

市では、今年一月から家電販売店などが破砕処理場に持ち込む冷蔵庫などについて、フロンガスの事前回収をお願いしている。

事業者の方は、適正にフロンガスを回収した後にコンプレッサーを取り外し、破砕処理の申し込みをしていただきたい。

なお、自己回収できない場合は神奈川県電機商業組合平中支部が代行（有料）するのでご利用を。

▽問い合わせ先
・粗大ごみ破砕処理場（電話22－四五五七）
・神奈川県電機商業組合平中支部（マインズ平塚店・電話31－七二八七）

生活HOT NEWS

自主防災組織
隣近所で助け合う

大地震が発生し、電気、ガス、水道、道路などのライフラインが大きな被害を受けると、防災関係機関の機能は著しく低下するものと予想される。

このような状況において被害の拡大を防止し、救援救護活動をスムースに行うためには、市民のみなさんの協力が欠かせない。特に、「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域住民相互の協力による組織的な活動が重要となる。

避難誘導班や給水班など防災訓練で体験する自主防災組織のみなさん

現在、市内のほぼ全域に自治会を基本単位として、二百九の自主防災組織が結成されている。それぞれの組織では、地域住民の関心と理解を高め、実際に災害が発生したときに役立つよう、各地域の特性に合った組織づくりを進めている。例えば、サラリーマンが多い地区では、平日の昼間に災害が発生したことを想定して、主婦を中心とした訓練を行い、いざというときのために備えている。

市民のみなさんも、地域で行われる防災訓練などに積極的に参加して、日ごろから災害に対する正しい心構えを身につけておいていただきたい。

市民相談

市民相談室（市役所）23－一一一一・内線二九三
◇人権法律相談・行政相談　2月21日(火)、3月7日(火)　13時～16時
◇一般法律相談　毎週水曜日13時～16時、予約制
◇登記供託測量相談　3月10日（金）13時～16時　2月21日(火)、13時～16時
◇住宅相談　3月6日（月）10時～15時
◇発明考案特許相談　2月16日(木)、3月16日(木)13時30分～16時
◇下請取引相談　3月9日（木）10時～15時
◇定例年金相談　毎週金曜日9時～16時
◇消費生活相談　毎週月～金曜日9時16時
◇一般市民相談
青少年相談室（市民センター）34－七三一一
◇青少年相談　毎週月～金曜日9時～16時
◇悩みごとは〝ヤングテレホン〟33－七八三〇　毎週月～金曜日9時～18時30分（土曜日は13時～18時30分）

福祉会館　33－二三三三
◇専門（法律、金融、住宅、医療）相談　3月9日(木)　13時30分～15時30分、予約制
◇生活支援相談　毎週月～金曜日8時30分～17時
◇ボランティア相談　毎週月～金曜日8時30分～17時
◇結婚相談　毎週日曜日10時～15時（第3日曜日は除く）
◇母子相談　毎週月～金曜日9時～16時
◇家庭児童相談　毎週月～金曜日9時～16時
◇婦人相談　3月9日（木）10時～15時
◇高齢者職業相談　毎週月～金曜日9時30分～16時
子ども教育相談センター（崇善小学校北側）36－六〇一二
毎週月～金曜日9時～17時（電話による相談は毎週月～土曜日9時～17時）

イベント情報館

カルチャー教室

3月10日までに市民センターへ

市民センターでは、四月から開講するカルチャー教室の受講生を募集する。

申し込みは、はがきに教室名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（リトミックは子供の名前と生年月日）を記入して〒254平塚市見附町十五―一　市民センター内ひらつかカルチャー事業運営委員会（電話32―二二三五）へ。締め切りは三月十日（金）、申し込み多数の場合は抽選となる。

親と子の造形教室・親子で絵を描いたり、粘土で遊んだりする

なお、受講料はいずれも教材費を含まない。

◆開講期間が4月から平成8年3月までのもの（受講料はリトミックと月霽会（げつさいかい）を除き半年分）

【タイルアート入門】募集30人
▽日時　第1・第3水曜日の午後1時30分～3時30分、全24回
▽講師　日本芸術家協会会員　露木秀泉氏
▽受講料　一万二千円

【謡曲入門】募集30人
▽日時　第1・第3水曜日の午前9時30分～11時、全24回
▽講師　無形文化財保持者　観世流師範　中森晶三氏
▽受講料　一万五千円

【表装教室】募集30人
▽日時　第2・第4金曜日の午後1時30分～4時、全24回
▽講師　表装研究家　古屋忠春氏
▽受講料　一万二千円

【中国語会話】募集30人
▽日時　第1・第3木曜日の午前10時～12時、全24回
▽講師　元東海大学医学部研究生　江鳴氏
▽受講料　一万二千円

【油絵教室】募集30人
▽日時　第2・第4木曜日の午前10時～12時、全24回
▽講師　二紀会同人　川口智美氏
▽受講料　一万二千円

【英会話入門】募集30人
▽日時　第1・第3火曜日の午前10時～12時、全24回
▽講師　元金沢工業大学講師　三木紀子氏
▽受講料　一万二千円

【書道入門】募集20人
▽日時　第1・第2・第3火曜日の午前9時30分～午後0時30分、全36回
▽講師　書草会主宰　守長草心氏
▽受講料　一万八千円

【竹芸教室】募集10人
▽日時　第2・第4木曜日の午後1時30分～3時30分、全24回
▽講師　日本工芸会正会員　藤塚松星氏
▽受講料　一万二千円

【水墨画教室】募集5人
▽日時　第1・第3日曜日の午後1時30分～3時30分、全24回
▽講師　四条円山派水墨画家　山崎純子氏
▽受講料　一万二千円

【奇術教室】募集20人
▽日時　第2・第4土曜日の午後1時30分～4時30分、全24回
▽講師　平塚奇術クラブ会長　宮代長次氏ほか
▽受講料　六千円

【陶芸教室】募集7人
▽日時　第1・第3日曜日の午前10時～12時、全24回
▽講師　陶芸家　丸田秀三氏
▽受講料　一万二千円

【リトミック】募集32人（対象は3～4歳児）
▽日時　毎週金曜日の午後1時～5時の間の1時間（4コース制）、全42回
▽講師　リトミック幼児指導者　関益子氏ほか
▽受講料　月四千円

【月霽会】骨とう品を見る目を養う　募集10人
▽日時　第3土曜日の午後1時30分～3時30分、全12回
▽講師　月霽会会長　久保田正男氏
▽受講料　年間二千円

◆開講期間が4月から9月までの教室

【新企画・童謡の魅力を探る】親から子へ歌い継がれる童謡の魅力を歴史的に探る　募集50人
▽日時　月2回、日曜日の午後1時30分～3時30分、全12回
▽講師　日本童謡協会・作曲家　伊藤幹翁氏ほか
▽受講料　一万二千円

【新企画・時事問題解説】日本や世界各地で起きている時事問題を分かりやすく解説する　募集30人
▽日時　第2火曜日の午後1時30分～3時30分、全6回
▽講師　時事通信社前ニューヨーク支局長　小関哲哉氏
▽受講料　六千円

【名作文学の周辺】募集30人
▽日時　第2・第4土曜日の午前10時～11時30分、全12回
▽講師　元中央公論社編集局次長　尾島政雄氏
▽受講料　一万二千円

【芭蕉を読む】募集30人
▽日時　第1・第3水曜日の午前10時～12時、全8回
▽講師　湘南工科大学講師　ゆりはじめ氏
▽受講料　八千円

◆そのほかの期間に開講するもの

【日本人の宗教】募集30人
▽日程　4月～10月の第1・第3土曜日、全11回
・時間　午後1時30分～3時30分
▽講師　神奈川大学教授　宮田登氏ほか
▽受講料　一万一千円

【親と子の造形教室】募集親子20組40人
▽日程　5月～10月の第3日曜日、全6回
・時間　午前10時～12時
▽講師　陶芸教育家　岡村敬子氏
▽受講料　六千円

手工芸教室　4月～平成8年3月の22回

・**時間**　午前は10時～12時、午後は1時30分～3時30分
・**受講料**　11,000円（9月までの11回分・教材費別）

教室名	開設日	時間	募集
籐工芸	第1・第3火曜日	午前	15人
レザーアート	〃	午後	10人
押し花	第2・第4火曜日	午前	7人
深雪アートフラワー	〃	午後	10人
ヨーロッパ刺しゅう	第1・第3水曜日	午前	10人
日本人形	第2・第4水曜日	午前	6人
ステンドグラス	第1・第3木曜日	午前	10人
カントリーステンシル	第2・第4木曜日	午前	15人
パンの花	第1・第3金曜日	午前	15人
木彫り	〃	午後	10人
フラワーデザイン	第2・第4金曜日	午前	7人
手編み教室	第2・第4土曜日	午前	10人

春の火災予防運動

3月1日から7日まで火の用心

「安心の　暮らしの中心　火の用心」をスローガンに、今年も三月一日（水）から七日（火）まで春の火災予防運動が繰り広げられる。

平成六年の市内での火災件数は前年より二十件増の百八件で、五人の尊い命が失われてしまった。原因としては、放火（疑いを含む）や、こんろ、たばこの火の不始末によるものが多くなっている。

今回の火災予防運動期間中は、百貨店の巡回調査や、危険物運搬車両の調査、事業所での実戦的消防訓練などが実施される。

冬は空気が乾燥し、火災が起きやすい季節。火の元には一層のご注意を。

防火パレード

市民のみなさんに、防火に対する意識を高めていただこうと防火パレードが行われる。

当日は、ミス七夕を一日消防署長に迎え、東海大学吹奏楽研究会や古式消防保存会、消防団のみなさんが防火を呼び掛ける。

▽日時　3月4日（土）午後1時30分～
▽コース　MNビル南側広場～JR平塚駅～紅谷パールロード

男の料理教室

米を中心とした日本型食生活を普及・定着させ、米の消費拡大を図るため行われるもの。今回は魚料理。

▽日時　2月25日（土）午前10時～
▽会場　中央公民館
▽定員　男性20人（先着順）
▽申し込み先　農産課営農指導係（内線五四三）

軽自動車の廃車は

軽自動車の廃車は、三月三十一日までに手続きをすると平成七年度の軽自動車税が課税されなくなる。

125cc以下の原動機付き自転車や小型特殊自動車を廃車するときは、ナンバープレート、標識交付証明書、印鑑をお持ちになり市民税課税制係（内線二六八）へ。

このほかの軽自動車を廃車するときは次の場所で手続きを。なお、盗難などで実際に所有していなくても、廃車届の手続きをしていないと引き続き課税されるのでご注意を。

▽二輪車（126cc以上）
・湘南自動車検査登録事務所（東豊田三六九―10・電話54―八九〇八）
▽三輪・四輪の軽自動車
・軽自動車検査協会（東豊田三六九―10・電話54―八八二五）

課税台帳の縦覧期間を変更

平成七年度は、地方税法の一部改正により固定資産税課税台帳の縦覧期間が、一か月遅れて四月三日（月）から二十四日（月）までとなる予定。

詳しくは、広報ひらつか三月十五日号でお知らせする。

▽問い合わせ先　資産税課償却資産係（内線二九一）

2月納期の市税・手数料

◆**対象税等**
・国民健康保険税　（第9期）
・国民年金保険料　（第11期）
・清掃し尿従量手数料　（第11期）

◆**納期最終日**　2月28日（火）

平塚市職員・嘱託員等の募集

◆**職員（薬剤師）…2人**
・**職務**　市民病院の薬剤師
・**資格**　昭和45年4月2日以降に生まれた人で、薬剤師の資格を有する人、または大学以上の課程を3月に卒業する見込みで資格取得見込みの人
・**申し込み**　所定の申込書（職員課にある）に必要事項を記入し、2月23日（木）までに、本人が職員課へ提出する

◆**嘱託員（水洗化普及事務）…1人**
・**職務**　公共下水道の接続普及のため、市内の対象区域訪問による啓蒙（けいもう）とその事務
・**資格**　中学校以上を卒業した男性で、昭和10年4月2日から昭和15年4月1日までの間に生まれた方
・**申し込み**　市販の履歴書に必要事項を記入し、2月23日（木）までに本人が職員課へ提出する

※いずれも試験は2月25日（土）午後行う。問い合わせは職員課（内線321）へ

臨時職員の募集

◆**薬剤師…若干名**
・**資格**　薬剤師免許取得者で、採用時現在45歳未満の方
・**時間**　市民病院で午前10時～午後3時
・**賃金**　時給1600円
・**申し込み**　履歴書と免許証の写しを市民病院庶務課へ3月9日（木）までに本人が持参する

※問い合わせ　市民病院庶務課　電話32－0015内線3197

ふるさと講演会

題名「元気に生きているときから死について考える時間を持つ必要がある」

終末医療…あなたならどうする

日時　3月4日（土）午後2時～4時
会場　MNビル11階第2会議室
講師　西丸與一氏
横浜市総合保健医療センター長
募集人員　150人（先着順）

●**申し込み**　希望される方は、住所、氏名、電話番号を記入のうえ、「〒254平塚市見附町15－1市民センターふるさと講演会係」へはがきまたは電話で申し込みを。電話32－2235

講師のプロフィール　横浜市立大学名誉教授。神奈川県監察医。著書には、さまざまな人間模様をつづった評判のドキュメンタリーエッセイ「法医学教室の午後」などがある

ホットHOTほっと

学校週五日制月二回に
四月から第四土曜日も休み

●今年四月から、全国の公立学校で月二回の学校週五日制が実施されること●になり、毎月第二土曜日に加え、第四土曜日も休業日となる。この機会に、●子供たちが家庭や地域で「ゆとり」の時間を活用して多様で多彩な活動ができるよう、各家庭でも休日の過ごし方についてぜひ話し合っていただきたい。●

今の子供たち

今の子供たちは豊かなものに囲まれ、一見幸せそうな生活の中で、おけいこごとや塾通いなど時間に追われた生活を送っている。また、受験戦争などで精神的にもゆとりがなく、学校から帰宅した後の遊びや家事の手伝いなど、子供たちが育つ過程で大切な体験も減っている。

その結果、子供本来の活発さを失い、自立心や創造性、協調性に欠けるなど、心や体に問題を抱える子供たちが増えている。

ゆとりと体験

子供たちは、さまざまな遊びを通して悩み、争いながら、挫折感や喜び、満足感などを味わい、心身の調和のとれた発達をしていくものである。

そこで、子供たちの発達段階に応じ十分な体験ができる場と時間（ゆとり）を確保するため、平成四年九月から月一回の学校週五日制が導入された。今年四月からは月二回となる。

五日制の目的

学校週五日制は、学校、家庭および地域社会の教育全体のあり方を見直し、これからの時代を担う子供たちの望ましい人間性を育てることを目的としている。

社会全体が大きく変化するなかで、子供たちに自ら考え、判断し、行動する力を身につけさせる教育が求められてきている。

学校週五日制には、子供たちが家庭や地域社会での生活時間を使って、異なる年齢の仲間の遊び、自然体験、社会体験、生活体験などを増やすことによって、子供の資質や能力を育てようという意味が込められている。

また、知識や技能を身につけることを重視した今までの教育から、個性や創造性を育てることを重視する教育を目指そうというねらいもある。

家庭の役割は

①体験的な活動を大切に

テレビや漫画などから間接的に学ぶだけではなく、実体験の機会を多く持つことが大切である。それが、子供たちに自発性を身につけさせ、社会の変化に対しても主体的に対応できる能力を培うことになっていく。

②過程を大切に

結果や答えだけを大切にするのではなく、そこにたどり着くまでの過程が大切である。子供たちが試行錯誤して、結果や答えを出すために努力することが次の行動に役立ってくる。

③子供の自主性を大切に

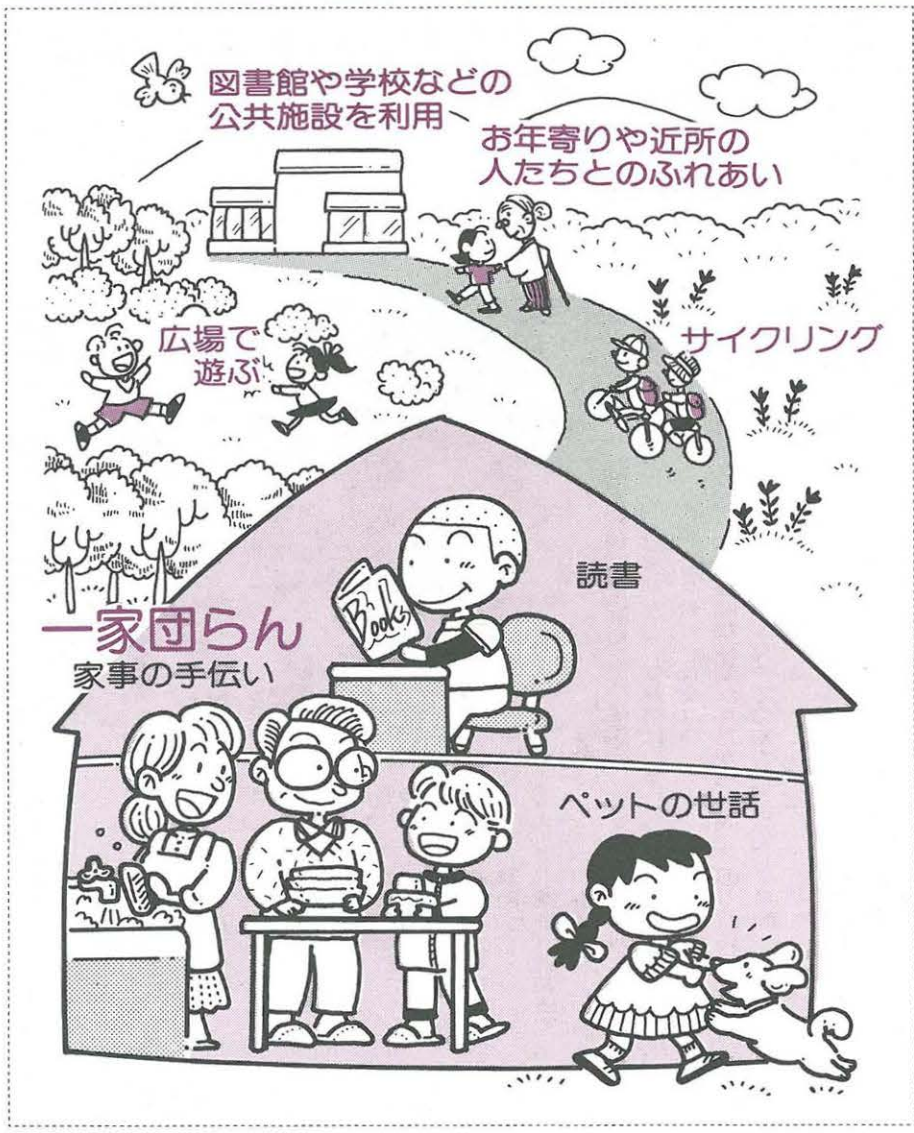
子供が自分で計画したり、行動したりすることが大切である。それが、自由にのびのびと「自分らしさ」を出させることにつながる。

校庭を開放

各学校では、学校週五日制の実施に伴い休業日となる土曜日の午前八時三十分から十二時まで、校庭を自由開放する。

これは、子供が選ぶ子供自身の時間を大切にするというねらいに基づいて、今までの第二土曜日に加え、第四土曜日にも実施するもの。原則として団体などによる占用利用はできない。

※問い合わせ先
・指導室（内線五三四）
・教育研究所（電話33―二一二一）



2月25日(土)休み

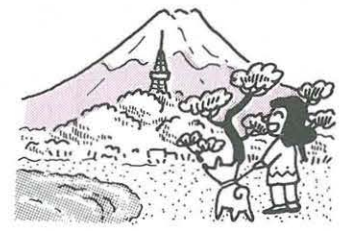
市立の幼・小・中学校では、4月から始まる月2回の学校週5日制に伴い、試行として2月25日（土）の第4土曜日を休業日とする。ご協力を。

ウォッチングひらつか

砂丘を歩く海の散歩道

松本和子さん（撫子原）

私の好きな散・歩・道



平塚に移り住んで十七年、そして犬のマルを飼い始めて一年が過ぎた今、すてきな散歩道を見つけました。

国道百三十四号線の花水川橋手前の信号を海側へ渡り、防砂堤の砂道を波の音を聞きながら歩いていくと、視界が開けてきます。伊豆半島、三浦半島、大磯海岸、江の島、そして晴れた日には大島まで見渡せます。

振り返ると、湘南平の後ろに真っ白に雪をかぶった富士山が顔を出し、思わず立ち止まってしまいます。こんなに素晴らしい景色を、どうして今まで知らなかったのか残念でなりません。大磯の海水浴場までの砂浜が、まるで大きなグラウンドのように見え、悠々とした気分になります。

また、砂防林の中からはメジロを始め、いろいろな野鳥のさえずりが聞こえ、のどかな自然とのふれあいのひとときが過ごせます。時にはふるさとの九州・天草を思い出し、なつかしい気持ちになることもあります。

美しい山、海、川を絵に描いたような自然と出会えたことは、私の心の宝物です。三人の子供たちとともに、豊かな自然をいつまでも守り続けていけるよう、マルと一緒に今日も歩いています。

《募集》日常親しんで通る散歩道を紹介していただくコーナー。五百字程度の紹介文をお送りください。

《送り先》〒254平塚市浅間町9―1　平塚市企画部広報広聴課「私の好きな散歩道」係。

施設見学会　親子で楽しく春の一日を

実施日①3月27日（月）
　　②3月30日（木）

●対象　市内にお住まいの小学生と保護者
●集合　午前8時50分市民ホールに集合
●定員　①②とも先着50人
●持ちもの　弁当、雨具、筆記用具
●申し込み　希望される方は、はがきに参加者全員の氏名と住所、電話番号、子供の学年と希望日を記入し「〒254平塚市浅間町9―1平塚市広報広聴課施設見学係」へ
●問い合わせ　広報広聴課広報担当　内線315

【時間とコース】

8時50分	市役所市民ホール集合
9時00分	出発
9時30分	金目川下流で水の観察
10時30分	環境科学センター
12時00分	総合公園で昼食
13時00分	総合公園備蓄倉庫見学
14時00分	大神環境衛生センター
15時30分	新港の建設状況見学
16時30分	解散予定

【見学の主な内容】

◇午前中は金目川の下流（花水川河口付近）で、川の水の流れや汚れなどを観察し、環境科学センターへ行って見学し、担当職員から川と水の汚れについての話しを聞きます。

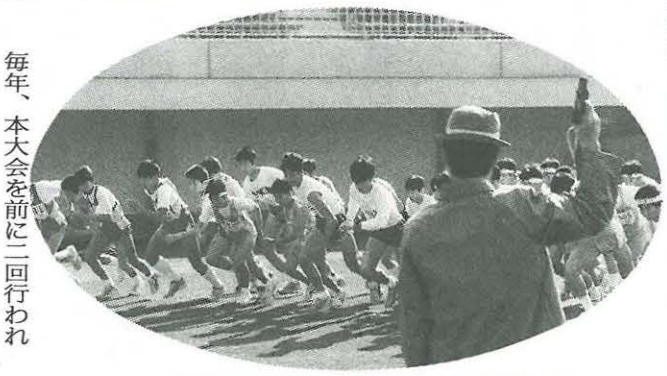
◇午後は、大地震に備えた市の備蓄倉庫（平塚球場内）を見学して、防災に対する日ごろの心構えを聞きます。また、大神環境衛生センターを見学しながら大量に運び込まれるごみについての話しを聞きます。最後は、海岸に建設中の新しい港の建設状況を見ながら春休みの勉強をしていただきます。

第25回少年少女マラソン大会

今よりもっと前へ

カメラレポート

毎年、本大会を前に二回行われてきた月例大会がなくなり新たに第一回、第二回（本大会）として行われるようになった少年少女マラソン大会の第一回が、一月二十九日（日）平塚競技場で開かれました。当日は小学五年生から中学生までの総勢二百七十人余りの生徒が力を競い合いましたが、その中で小学五年生女子の杉田好さん（勝原小）が今までの記録を塗りかえるまさに好走を見せてくれました。



いよいよスタート　ゴールを目指せ

苦しいときも
自分のペースを守って
競技場はもうすぐそこ

モデル校の意見や感想

教育委員会では、調査研究校を設け学校週５日制について検討を重ねてきた。各学校には、いろいろな意見が寄せられている。その一例を紹介しよう。あなたの考えは…。

小学生の保護者

- 家族で出かける回数も多くなり、計画も立てやすくなった
- ゆっくり話す時間を持てるので喜んでいる
- 選択の幅を持てるチャンスが増えて良い
- 大人が思うほど子供たちは特別視していない。「たまたま休みになってラッキー」というような感覚で、上手に対応している
- 商売をしている家庭では土曜日が休みと決まっているわけではない。土曜日だけにこだわらなくても良いのでは
- 親が共働きなので子供だけで過ごすことが心配
- 休みのたびに行事が入ったので、役員は少しばて気味
- 「さあいらっしゃい」型の受け皿（イベントなど）は、そろそろ考え直して良い。のんびり過ごすことがゆとりの第一歩
- 子供が自由に過ごせるキャンプ場や公園を増やしてほしい
- 教育内容が変わらない限り少ない時間で覚えなければならなくなり、子供にとって負担になる
- ほかの曜日に負担がかかったり、学校行事（運動会、遠足、学習発表会など）がなくならないことを要望する

中学生本人

- 家族との会話が増え、家が楽しくなった
- 自由な時間が増えてうれしい
- 休みがある分、学校も充実している
- 計画的に時間を使えるようになった
- 平日の授業を減らしたほうがゆとりがある
- 学習内容や高校受験の在り方も併せて考えてほしい。塾も休みにしなければ無意味
- 土曜日は両親が家にいないので、仕事も休みにすればいい
- 休みの土曜日には体育館も開放してほしい
- 休みの日の行事はやめてほしい

中学生の保護者

- のんびり過ごせる一日は心にゆとりを生む
- 授業のしわ寄せが心配。授業についていけない子供たちはどうするのか
- 土日を利用した学習塾が今よりも加熱し、学力差がより大きくなるのが心配
- 学習指導要領が今のままでは学校行事を全廃しても授業時間数を確保するのは困難だ
- これ以上学校行事を減らさないで
- 家庭でじっくり話し合うことが重要だ
- 子供自身の心の持ち方が一番重要。そばにいる大人がいかに手助けをするかが大切
- 現実に多くの親が土曜日に働いている今の社会を見直すべき

催し物コーナー

図書館

☆ビデオ映画会

◎２月19日（日）10時、14時、中央館
したきりすずめ、ちから太郎、ナイチンゲール、ミレー

◎２月26日（日）10時、14時、中央館
かちかち山、やまんばと牛かた、キュリー夫人、ゴッホ

◎３月５日（日）10時、14時、中央館
あしながおじさん

◎３月12日（日）10時、14時、中央館
トム・ソーヤの冒険

☆購入新聞のご案内

図書館では、中央図書館が12紙、北図書館が８紙、西図書館が12紙の新聞を購入している。中央図書館では、その日の新聞は１階新聞コーナーで、最近３か月以内の新聞は２階貸出室で自由に閲覧できる。また、３か月以前の新聞は縮刷版やマイクロフィルムで保存してある。北図書館では、ブラウジングコーナーに、その日と１か月以内の新聞がおいてある。西図書館では、１階の子供室に小・中学生向きの新聞、２階のブラウジングコーナーにその日と３か月以内の新聞がおいてある。
どうぞご利用を。

☆図書館のネットワーク

図書館は、中央図書館と北図書館、西図書館、あおぞら号で有機的で総合的なネットワークをつくり、市民のみなさんにご利用いただいている。みなさんが訪れた図書館に、ご希望の本がない場合でも、ほかの館にあれば取り寄せて、ご利用いただいている。また、平塚市にない場合でも、県立図書館や他市の図書館から借りることも可能。ご希望の本が見当たらない時は、カウンターにお申し出を。

☆初めて借りる方は登録を

初めて本を借りる方は、登録が必要なので、住所やお名前が分かるもの（保険証・運転免許証など）の持参を。登録と同時に利用カードを作成するので、その日から本が借りられる。
借りられるのは、本、雑誌（最新号以外）、ＣＤ、ビデオテープ合わせて５点まで。借りられる期間は２週間。
１枚の利用カードで中央館、北館、西館、あおぞら号で共通に使え、それぞれ５点まで借りることができる。
万一、利用カードを紛失した場合は再登録の手続きを。また、住所等の変更があった場合は、お申し出を。

◇**開館時間**　火～日曜日９時～16時50分（金曜日のみ、中央館の貸出室と参考室は９時～18時50分）
◇**休館日**　毎週月曜日、月末、中央図書館のみ３月14日（火）（館内消毒のため）
◇**中央図書館**
〒254浅間町12―41　電話31―0415
◇**北図書館**
〒254田村5155―１　電話53―1232
◇**西図書館**
〒254山下760―３　電話36―3555

博物館

☆プラネタリウム「地球のしっぽ」

地球の磁力線と太陽風の構造を解説。
・投影日　３月12日（日）までの土・日曜日
・時間　11時と14時
・観覧料　100円

☆寄贈品コーナー

◎「生物部門：津久井湖・相模湖のプランクトン」
津久井湖・相模湖に生息するプランクトンを写真パネルで展示。
・期間　２月26日（日）まで

◎「天文部門：太陽」
１年間の太陽観察の成果を展示。
・期間　３月１日（水）～30日（木）

☆漂着物を拾う会

平塚海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集めて調べる。
・日時　２月18日（土）９時30分～11時30分。参加自由。雨天時中止。
・集合　花水川橋平塚側たもと

☆星を見る会

望遠鏡で火星をみよう。
・日時　２月24日（金）19時～20時30分
・場所　博物館屋上（科学教室集合）
・参加　自由（雨天時中止）

◇**開館時間**　９時～16時50分
◇**休館日**　毎週月曜日、月末
◇**博物館**
〒254浅間町12―41　電話33―5111

美術館

☆市民アートギャラリー

【陶芸クラブ・有雅陶20周年記念展示会】
・期間　２月15日（水）～19日（日）
【進和学園陶芸展】
・期間　２月15日（水）～19日（日）
【なかよし作品展】
・期間　２月23日（木）～28日（火）
【第４回菁陶会作品展】
・期間　３月１日（水）～７日（火）
【神奈川県学生書道展】
・期間　３月１日（水）～７日（火）
【平塚女流書道展】
・期間　３月９日（木）～14日（火）

◇**開館時間**　９時30分～16時50分
◇**休館日**　毎週月曜日、２月21日（火）（常設展の展示替え及び設備保守点検等のため）
◇**美術館**
〒254西八幡１－１－３　電話35―2111